

男子の徳島市立は2連覇

三 道

(鳴門道場)

【男子】団体決勝リーグ(計100射)①徳島市立(多喜、大下、伊東、笹田、吉野、伊勢、花房)5勝(65中)②阿波4勝1敗

(58中)③つぎ3勝2敗(55中)④池田1勝4敗(52中)⑤徳島科技1勝4敗(45中)⑥小松島西1勝4敗(41中)⑦4〜6位は総的中数による。

【女子】団体決勝リーグ(計100射)①鳴門渦潮(中岡、倉)という笹田の4射目が



「当たって」と確信があった」

勢いに乗り全勝

持荒、小西、岩根、神田5勝(57中)②徳島市立4勝1敗(73中)③城ノ内2勝3敗(48中)④名西2勝3敗(46中)⑤城北2勝3敗(41中)⑥富岡東5敗(31中)⑦3〜5位は総的中数による。

「×」から「○」に変わり、14-14の同点に。勝敗を決める競射で大下と吉野主将「写真」が見事

的中させ2-0で池田を破った。勢いそのままにその後

連覇を達成。メンバーのうち4人が昨年の全国総体を経験し、決勝トーナメント1回戦負けの悔し

さを知る。吉野主将は「力を出し切りリベンジを果たす」と健闘を誓った。